

県立龍野高等学校「創立記念日」に寄せて

県立龍野高等学校
校長 駒田 勝

先ず大切なことは読書の習慣を作ることである。読書の時間がないと云うのは
読書しないための口実に過ぎない。 三木 清著『読書と人生』

令和7年(2025)の今年は、昭和100年にあたり、戦後80年の節目の年になります。今からちょうど100年前の大正14年(1925)は、思想弾圧を目的とした「治安維持法」が公布された年です。哲学者であり、皆さんの大先輩でもある三木 清(龍野中学卒)は、この法律に違反し検挙され、豊多摩拘置所で病死しました。今年で没後80年となります。

令和7年4月27日(日)の朝日新聞には、三木の著書「人生論ノート」(新潮文庫)が取り上げられていました。記事によると、この本は今年3月にも増刷されて117刷220万4千部に達したとのこと。このエッセー本が今なお広く読み継がれているのは、予測不可能な時代に生きる私たちのところに響くものがあるからだと思います。「人生論ノート」をはじめ三木の著書をまだ読んだことのない人は、この機会に手に取ってみてはどうでしょうか。因みに、読書習慣のある龍高生が減ったとも耳にしています。もしかすると、冒頭の三木の一文はそんな後輩へのメッセージなのかもしれませんよ。

さて、本校は6月1日を創立記念日と定め、今年で創立128年目を迎えました。

明治30年、地元の要請と厚いご支援により、県下で4番目の中学校となる兵庫県龍野尋常中学校が開校しました。「質実剛健」を校是とし、校名は明治32年に兵庫県龍野中学校、同34年に兵庫県立龍野中学校と改称され、昭和23年の学制改革によって兵庫県立龍野南高等学校となりました。

一方、明治39年には、女子教育の先駆けとして「勤勉力行、去華就実」を校是とした龍野町立技芸専修女学校が開校しました。その後、同42年に揖保郡立技芸女学校、同45年に揖保郡立実科高等女学校、大正7年に揖保郡立高等女学校、同11年に兵庫県立龍野高等女学校と改称され、さらに戦後の学制改革によって兵庫県立龍野北高等学校となりました。

そして、昭和23年9月1日、この南北両高等学校が統合され、兵庫県立龍野高等学校が誕生しました。一校に統合後も、両高校の職員、生徒を一か所に収容する施設がなかったため、南高校を本校に、北高校を分校にして分散授業を続けていましたが、昭和25年6月1日に北分校を廃止して現在の場所で全学年の授業を始めたことから、この日を創立記念日としています。

このように明治から大正、昭和、平成、令和へと連綿と続く歴史の中で、龍中と龍女の不易の精神は時代を超えてなお引き継がれています。本校は、「文武両道」を校是とし、校訓を「向上、友愛、団結」として、これまでに4万有余名の有為な人材を輩出してきました。そして現在においても、校訓に基づき、確かな学力と豊かな感性・人間性の涵養に努め、他者への思いやりと優しさを持つ「知・徳・体」の調和のとれた人材の育成を目指しています。

県立龍野高等学校には、128年の時を紡いできた歴史と伝統に裏打ちされた龍野高校ならではの『よき校風』があること。また、皆さん一人ひとりが、この『よき校風』を受け継ぐ「龍高生」であることを今一度自覚し、自らの在り方、生き方を考える一日にしたいと思います。